		等専門学	校 開講年度	平成29年度 (2	2017年度)	授	業科目	設計製図 I
~ 	<u>礎情報</u>	13 13 1 3 3	17.5213 1.22	1 1 1 1 2 1 2 1		,,,,,		
<u>17 口坐</u> 科目番号		0019			科目区分	I	 専門 / 必(
村日笛号					単位の種別と単		夜(1) / 宛(履修単位:	
					対象学年		<u>腹泻羊瓜.</u> 1	1
開設期					1			
				週時間数 2				
教科音/多 担当教員	教科書/教材 初心者のための機械製図[第4版] 藤本元,森北出版							
	-	島名 賢	[冗					
到達目								
養う		解させると	:ともに製図の基本技術 	がを習熟する. また 	, 機械製図におけ 	ナる図示方	う法を理解 	し, 緻密な施行と正確な作図能力を
ルーブ	リック		7m+n+6 () 7:10 + 1		I#\\\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
						的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
、線と文	図の役割、図 【字、図形の 【ことが出来	表し方を説	し を説明できる。 明 と文字を描くこ	を説明できる。図画工で的唯な様 を説明できる。 と文字を描くことができる。投影 と文字を描くことが と文字を描くことが さについて説明		や図面のあらまし 図面上で的確な線 とができる。投影 できる。		図面上で的確な線と文字を描くことが出来ない。 とが出来ない。 投影法について訪 明出来ない。
寸法の表し方、寸法公差、幾何公 差について説明し、図面上で指示 することが出来る。			公 できる。寸法公別 示 で的確に指示でき	寸法を表すことが 差について図面上 きる。幾何公差に 的確に指示できる	図面上で的確に寸法を表すことができる。寸法公差および幾何公差について図面上で読み取ることができる。		幾何公差	図面上で寸法を表すことができる。寸法公差および幾何公差について図面上で読み取ることが出来ない。
 表面性状の表し方、材料記号について説明し、図面上で指示することが出来る。			こ きる。材料記号(図面上で指示する	ることができる。	図面上の表面粗 きる。材料記号 ことができる。			図面上の表面粗さの指示を理解できる。材料記号について説明することが出来ない。
ねじ, 軸受け金属等の機械部品の 複写を描くことが出来る。			の 品すべての図面を る。さらに使用を	軸継手などの部 を描くことが出来 されている材料な することが出来る	ボルトやナット、軸継手などの図 面を描くことが出来る。		などの図	ボルトやナット、軸継手などの図面を描くことが出来ない。
 学科の		項目との	[。] 関係					1
			<u> </u>					
教育方:		27 1 17	(HII)CLIN G C					
扱用力	Д ()	★ ₹N □	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	7の言心言十制 図/ニキン/ナ	フ甘琳 レナ\マーコ	= t=	- 中羽 丁	
概要		図面か	で子が内谷は、2年から寸法や規格を正しく	、読み取る能力を養	る埜哫とはる.ま う	·/こ,上们	天白, 上	子关阙,′成械上作法,剧运政司专0.
百半うよ								
	ヒルナーナンナ	立体の	概念及び図示方法につ	いて製図器を用い		る. そσ.)ため機械	
文表り進	め方・方法	れる.			て演習し, 提出す			部品の製図などの演習を多く取り入
2011 - 1-	め方・方法	れる.			て演習し, 提出す			部品の製図などの演習を多く取り入 できるように取り組むこと.
主意点		れる.			て演習し, 提出す			
主意点		れる.			て演習し, 提出す	リックの目		できるように取り組むこと.
注意点		れる. 演習や	図面は決められた日時	までに必ず提出す	て演習し, 提出すること. ルーブリ	リックのE 週ごとの (1)機 (2)製	相標を達成 D到達目標 械製図の 図の規格	できるように取り組むこと.
注意点		れる. 演習や 週 1週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図	までに必ず提出す	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 週ごとの (1)機 (2)機 いて説明 (3)線	標を達成 の到達目標 械製図の 図の規格 別できる。	できるように取り組むこと。
注意点		れる. 演習や 週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図 表し方	までに必ず提出す	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックのE 週ごとの (1)機 (2)機 いて説明 (3)線 る。 (4)投	加票を達成の到達目標 械製図の規格を 別できる。 の種類や引 の種類や引	できるように取り組むこと. ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②
注意点		れる. 演習や 週 1週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図	までに必ず提出す 図面のあらまし、綜 図面のあらまし、綜	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 週ごとで (1)機 (2)説 (3) & 。 (4)投 (1) 寸浦 (3)と (3)と (1)さい (3)と	相標を達成の到達目標 対数図のが 対数図のをきる。 の影図の種類やできる。 が表記できる。 が表記できる。	できるように取り組むこと.
注意点	画	れる. 演習や 週 1週 2週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 週ごとの (1) 製 (2) U (3) (3) (4) (1) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (1) (2) (4) (3) (3) (4) (3) (4) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	は標を達成の登録を達成の登録を達している。 はは、 とのでは、 は、 とのでは、 は、 とのでは、 は、 とのでは、 は、 とのでは、 との	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で の図、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) はの部や外形図の寸法を描ける。 はめあいについて理解し、図面に表
主意点	画	れる. 演習や 週 1週 2週 3週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方	までに必ず提出す 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 週ごとは (1) とい (3) (4) (1) 法)と) (1) (3) と) (1) (4) と) (1) (4) と) (1) (4) と) (1) と) (根標を達成 「関係を達成」 「対象の表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で。 の以立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) はのあいについて理解し、図面に表 はめあいについて理解し、図面に表 を説明し、図面上に指示できる。 の表面性状を指示できる。
主意点 受業計	画	れる. 演習や 週 1週 2週 3週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸え	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はい	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 週ごとの (1)機製に (3)。 (4) (1)法 (3)。 (4) (1)法 (4) (2) (4) (2) (4) (3) (4) (4) ボルト、	標を達成 一個では、 「」では、 「」では	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で でである。 では、立体図を描ける。 を記入方法の違いを説明できる。(2) はのおいについて理解し、図面に表 を説明し、図面上に指示できる。 をの表面性状を指示できる。 に類を図面上で指示できる。
主意点 受業計	画	れる. 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、 機械製図の基礎(れ	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 基公差、幾何公差 材料記号 はじ) はい	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックのE (1) は (1) は (2) で (3) で (4) は (1)	は標を達成の登録を表現では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	できるように取り組むこと。 と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に き方、文字や文章を的確に記入で 図、立体図を描ける。 記入方法の違いを説明できる。(2) 政部や外形図の寸法を描ける。 はめあいについて理解し、図面に表 類を説明し、図面上に指示できる。 の表面性状を指示できる。 質類を図面上で指示できる。 類を図面上で指示できる。
主意点 受業計	画	れる. 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 (1) は(1) (3) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	は標を 達 図 製のき 類 や 種号差る差 さ理料属 ツット トナナナ ナット の を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	できるように取り組むこと. ②要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で の図、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) はめあいについて理解し、図面に表 を関を説明し、図面上に指示できる。 変の表面性状を指示できる。 種類を図面上で指示できる。 種類を図面上で指示できる。
主意点	画	れる. 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ	#までに必ず提出する 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 (1) (1) (1) (2) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	根標を達成の対域図でである。 受ける という はい	できるように取り組むこと. 必要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で に関い、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) に対部や外形図の寸法を描ける。 は対あいについて理解し、図面に表 に類を説明し、図面上に指示できる。 は知を記明し、図面上に指示できる。 を知えて指示できる。 を知えて関本と指示できる。 を知る図面上で指示できる。 を知る図面上で描示できる。 を知る図面上で描示できる。 を記載を図面上で描示できる。 を記載を図面上で描述ける。
主意点	画	れる. 演習や 過 1 週 3 週 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週 8 週 8 週 8 週 1 回 1 u u u u u u u u u u u u u u u u u u	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸え 表面性状の表し方、寸え 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ	きまでに必ず提出す 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの目 (12 で) (3 c) (1) (3 c) (4) (1) (3 c) (4) (1) (3 c) (4) (4) ボルルト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト	根標を達成の対域図でである。 受ける という はい	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で に図、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) はのあいについて理解し、図面上に指示できる。 は対あいについて理解し、図面上に指示できる。 種類を説明し、図面上に指示できる。 種類を図面上で指示できる。 種類を図面上で指示できる。 を図表面性状を指示できる。 を図表面性状を指示できる。 を図表面性がを指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上で指示できる。 を図を図面上でおいて
主意点	画	れる. 演習や 過 1週 3週 3週 5週 6週 7週 8週 9週 9週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ	きまでに必ず提出す 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 aじ) aじ) aじ) aじ) aじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの 週(1) 3(1) (3) (1) (3) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (1) (4) (1) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	は標を達成の 対域図で種図の記公さ公組の材金サナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナナ	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で記し、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) はのあいについて理解し、図面上に指示できる。はがあいについて理解し、図面上に指示できる。種類を図面上で指示できる。種類を図面上で指示できる。種類を図面上で指示できる。種類を図面上で指示できる。を写が描ける。 の複写が描ける。
主意点	画	れる。 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸え 表面性状の表し方、寸え 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線図面のあらまし、線図面のあらまし、線図面のあらまし、線図面のあらまし、線図面のあらまし、線図面のあらまし、線図面のあらまし、線図面のあらまし、線図のとはできるには、はできるには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの ご (3 (4) 1 (1) (3) (4) (1) (3) (4) (1) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	標の格。 や 断 大漢に 面面鋼鉄 ナナナナ 複 複 図の格。 や 断 類 で 和 型材金 ナナナナ す 複 複 で 和 型材金 カートトトト で の を 前のの の の の の の の の の の の の の の の の の	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入で記し、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) はめあいについて理解し、図面上に指示できる。は対し、図面上に指示できる。種類を図面上で指示できる。種類を図面上で指示できる。種類を図面上で指示できる。種類を図面上で指示できる。を写が描ける。 の複写が描ける。
主意点授業計	画	れる。 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(れ 機械製図の基礎(す 機械製図の基礎(車 機械製図の基礎(車 機械製図の基礎(車 機械製図の基礎(車	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの 週(1)30(1)30(1)30(1)30(1)30(1)30(1)30(1)30	標の格。 では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	できるように取り組むこと。 と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に 「き方、文字や文章を的確に記入で 「図、立体図を描ける。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
主意点授業計	画 3rdQ	れる. 演習や	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線ののあらまし、線ののあらまし、線が表で、幾何公差をはできます。 材料記号のはできます。 はじりのはできます。 はじりのはできます。 は継手りのは継手りのは継手りのは継手りのはという。 は継手りのはというにはいるによっている。	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (12で) (13で) (13で) (14 で) (14	は 標を 達 型 製のき 類 や 種 号差る差 さ理料属 ツ ツ ツ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入では 図、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) は内部や外形図の寸法を描ける。 はめあいについて理解し、図面上に指示できる。 種類を説明し、図面上に指示できる。 種類を図面上で指示できる。 種類を図面上で指示できる。 種類を図面上で指示できる。 を類を図面上で指示できる。 を変わが描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを言が描ける。 とを言がはいる。 とを言がはいる。
注意点授業計	画 3rdQ	れる。 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの (い () () () () () () () () ()	は は は に を を 達 は に を を 達 は に に に に に に に に に に に に に	できるように取り組むこと. と と と と できるように取り組むこと. と と と できるように取り組むこと. と と できる。 ではっか描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 ではる。 はいる。 はいる。
主意点授業計	画 3rdQ	れる. 演習や	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方 寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リックの (い () () () () () () () () ()	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	できるように取り組むこと. と要性や役割を説明できる。 や図面の種類、尺度、寸法の単位に しき方、文字や文章を的確に記入では 図、立体図を描ける。 の記入方法の違いを説明できる。(2) は内部や外形図の寸法を描ける。 はめあいについて理解し、図面上に指示できる。 種類を説明し、図面上に指示できる。 種類を図面上で指示できる。 種類を図面上で指示できる。 種類を図面上で指示できる。 を類を図面上で指示できる。 を変わが描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを写が描ける。 とを言が描ける。 とを言がはいる。 とを言がはいる。
主意点	画 3rdQ	れる。 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リック 週 (1) る (4) か (1) な (1)	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	できるように取り組むこと. と と と と できるように取り組むこと. と と と できるように取り組むこと. と と できる。 ではっか描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 ではる。 はいる。 はいる。
主意業計	画 3rdQ 4thQ	れる。 演習や 週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リック 週 (1) る (4) か (1) な (1)	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	できるように取り組むこと. と と と と できるように取り組むこと. と と と できるように取り組むこと. と と できる。 ではっか描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 ではる。 はいる。 はいる。
反注授	画 3rdQ 4thQ	れる。 演習や 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	図面は決められた日時 授業内容 機械製図の役割、図表し方 機械製図の役割、図表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法の表し方、寸法 表面性状の表し方、寸法 機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(れ機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟機械製図の基礎(軟	を表でに必ず提出する。 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 図面のあらまし、線 は公差、幾何公差 材料記号 はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ) はじ)	て演習し,提出すること.ルーブリ	リック 週 (1) る (4) か (1) な (1)	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	できるように取り組むこと. と と と と できるように取り組むこと. と と と できるように取り組むこと. と と できる。 ではっか描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 では写が描ける。 ではる。 はいる。 はいる。

基礎的能力	30	70	0	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0